

議会公報生口会

鹿追町議会基本条例に定めた「まちなか会議」の一環として、平成23年6月定例議会の報告会を7月7日に、鹿追町議会議場と瓜幕のウリマツクホールの2カ所で行いました。初めての試みで、町民の皆様にも私たち議員も戸惑いの中での開催でしたが、開かれた議会実現のため、確かな一歩を踏み出したものと考えます。

参加者16人からのスタート

鹿追会場7人・瓜幕会場9人

町議会本会議場で

行われた議会報告会

議会広報広聴常任委員会が主催する初めての鹿追会場での議会報告会は、午後6時半より役場3階の議場を使っておこなわれました。

た。町民からの参加は、7名と少数でしたがそれぞれ日頃より町政に関心を持っていた人たちでしたので、活発な質疑が行われま

した。

鹿追、瓜幕と2会場で同時に進行ことになりましたので報告に当たる議員も2班に分かれて行いました。鹿追会場では、埴淵議長のおいさつのもと、吉田議員、飯沼議員、加納議員、上嶋議員、山岸議員がそれ

ぞれ役割を分担し、説明員の飯沼議員が6月定例会の内容を会場で配布した資料に沿って説明しました。補正予算の内容や、ちょうどこの日、帯広市との間で締結された定住自立圏協定の内容などについて質問され、それぞれ議員が交代で回答しました。また議会の一般質問の表

題をもっと早く周知されれば、傍聴にも行きやすいので早い段階で知らせてほしいという要望が出され、前向きに検討すると回答しました。最後に9月に行われるナイター議会と第三者審議会の委員の公募についてお知らせをして1時間10分ほどで報告会を終了しました。

質問 プラントで発電した電気は地域のエネルギーとして利用は可能か。

回答 電気事業法の関係で高いハードルがあります。新エネルギーの全量買い取り制度など、国の政策により夢は大きく広がります。

質問 塵芥収集車の更新がされますが、ごみ処分場の実態は。将来の処分方法として燃やすことは。

回答 現在の埋め立て処分場は計画の45%になっており、平成30年までは使用可能とのこと。将来の処分方法については、行政と共に検討します。

報告会は1時間45分ほどで終了しました。

地域の人にもっと来てほしい

瓜幕 小竹好太郎さん

議会報告会に取り組んだことに敬意を表したい。今回の参加者が9名でしたが、地域の人にもっと来てほしいですね。どんな意見でも全て町づくりにいかす事ができる良い機会です。



ウリマツクホールで行われた議会報告会

何人の人にもっと来てほしいか不安もありましたが、瓜幕会場は9人の地域住民が集まりました。川染副議長、安藤議員、狩野議員、台蔵議員、武藤議員の5人で司会、報告、記録など役割を分担して進めました。

はじめての議会報告会は6月定例議会の内容をまとめた資料にそって説明されました。参加者からは次のような質問や意見がありました。

質問 瓜幕地域ではバイオガスプラント建設に対する関心は高い、調査業務の予算があるがどんなことをするのかが。

回答 各酪農家において施設の形態やふん尿の量など専門の見地から調査をおこないます。

質問 バイオガスプラント利用に参加したとき、酪農家の負担額は。

回答 中鹿追プラントの例で成牛1頭、1万2千円です。



瓜幕地域の議会報告会

広報紙では伝わらない行間が感じられた

仲町 木幡裕人さん

広報紙や新聞では伝わらない行間の内容が議会報告会に参加して充分に感じられました。時間が許せば、他の方たちも参加してみたいかでしょう。



つぶやき

■今年も暑い夏になるのか、今の気候ではそんな予感があります。ここは北海道、ふさわしい気候であってほしいです。



鹿追地域の議会報告会



瓜幕地域の議会報告会